

厚生労働科学研究費補助金（エイズ対策研究事業）

「HIV 感染症の曝露前及び曝露後の予防投薬の提供体制の整備に資する研究」

令和 2 年度 分担研究報告書

【研究分担課題名】 本邦における PrEP（曝露前予防）の指針策定に関する研究
研究分担者名：谷口俊文（千葉大学医学部附属病院・講師）

研究要旨

HIV 感染症の曝露前予防（PrEP）の提供体制に関して、我が国での妥当性、実現可能性の評価を目的とし、当院における単群介入試験 pilot study を継続す

A. 研究目的

PrEP 提供体制整備の一環として、日本における PrEP の指針を日本エイズ学会と共同して策定し、現在、公知申請中の抗 HIV 薬ツルバダが PrEP 用に承認された際には、ガイドラインへと発展させる。同時に、海外での導入経験を参考に、日本での PrEP の導入法についても検討し、提言を行う。

B. 研究方法

日本における PrEP の指針策定に関して、すでに草の根で PrEP 使用者は増加していることを踏まえ、日本エイズ学会の協力のもと、医療従事者、コミュニティと共同し、日本の実情を踏まえた PrEP 指針の初年度内の策定を目指す。PrEP が日本で承認された際には、同指針をガイドラインに発展させることを予定している。また、次年度より PrEP の日本への導入に向けた提言について、当研究の先行研究で実施した海外における PrEP 導入事例調査の成果をもとに導入法の検討を行う。最終年度に、検討結果を元に日本における PrEP 導入の提言を行う。

C. 研究結果

日本における PrEP の指針策定を日本エイズ学会の協力のもと、医療従事者、コミュニティと共同して年度内にまとめる予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響のため共同作業を取

りまとめることができなかった。しかしながら、海外の PrEP 診療指針などの邦訳などを作成し、日本の診療指針のたたき台になるものを作成した。次年度ではこれら海外の PrEP のガイドラインをもとに指針案を作成、方向性を定めて日本における PrEP の導入方法の検討を行う。

D. 考察

日本における PrEP の診療指針は、日本エイズ学会と当研究班が主導しながら、医療従事者、コミュニティの当事者が検討しつつ作成して、ガイドラインに発展させるべきである。

E. 結論

日本における PrEP の診療指針を作成する。またガイドラインに発展させる。

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし